

令和3年度 近隣公民館直営3市事業聞き取り調査

令和4年3月28日 公民館運営審議会 資料

調査市	小平市	国分寺市	国立市	東村山市
1 公民館運営と館数	市直営 全11館 (中央・小川・花小金井北・上宿・上水南・小川西・花小金井南・仲町・津田・大沼・鈴木)	市直営 全5館 本部は本多公民館 (本多・恋ヶ窪・光・もとまち・並木)	市直営 1館のみ	市直営 全5館 (中央・萩山・秋津・富士見・廻田)
2 30歳～40歳代向け講座	子育て支援講座 (過去にヤングセミナー40歳以下限定を開催していたが受講者がなく廃止した。)	なし。 異世代交流はあり。(地域の方が指導者となり子どもと遊ぶ企画。マジックや切り絵、スポーツ吹き矢)	講座は特にはなし。 講座とは別に青年室事業(コーヒーハウス)がある。障害者学級とボランティアの若者、またその公民館併設喫茶室を含んだ活動がある。	各講座の世代はフリー。 年齢制限の講座はシニア学級のみ。(令和4年度から年齢制限を無くし年齢フリーで応募可能とする。)
3 市民講座情報発信方法	市報・チラシ・HP・メルマガ。 講座はテーマ区分による募集・開催。その中に子育て支援講座など若者向け講座あり。子ども向け講座(ジュニア講座)に参加してもらい、将来の利用につなげたい。(過去にヤングセミナー40歳以下限定を開催していたが受講者がなく止めた。)	市報・HP・ツイッター	市報・HP・市公式ツイッター・広報誌「公民館だより」。 市公式メーリングリスト、市公式LINEもあるが反響は少ない。 学生ボランティアの口コミで受講者を誘っている状況。	市報・HP・ポスター・チラシ (フレッシュコンサートはフェイスブックとツイッター)
4 公民館での若者層の関わり (ボランティア)	特になし。	障害者学級活動の学生ボランティアが在籍。 地域の大学生 東京学芸大学・東京経済大学の実習生もいる。	上記のコーヒーハウスは10代～30代の特に学生が中心となり障害者も含めて活動。活動の中に青年講座があり参加者が自由に講座を企画・開催し学びあっている。 大学生による中高生対象の学習支援事業がある。(市内、近隣大学生ボランティア在籍)	知的障害者青年学級「かめのご学級」 レクリエーション活動の学生ボランティア在籍
5 年間講座件数(本館・地区館) (中止・中断含む)	[中央公民館]9講座 [地区10館]92講座 (各館で企画・運営)	[本多公民館]21講座 [地区4館]101講座 (各館で企画・運営)	[国立市公民館]52講座	(コロナ前)市民講座等 [中央公民館]11講座 [地区4館]8講座 キッズ伝統芸能体験1本(年16回)
6 1講座当たりの回数	3～8回	講座によってさまざま。	講座によってさまざま。	基本4回
7 ホール公演事業	公民館主催はなし。 ホールを使用する自主公演事業は「ルネこだいら」で実施するため。	公民館主催はなし。 ホールを使用する自主公演事業は「いずみホール」「リオンホール」で実施するため。	公民館主催はなし。 ホールを使用する自主公演事業は「くにたち市民芸術ホール」で実施するため。	自主公演事業(年1回) フレッシュコンサートオーディション(年1回) フレッシュコンサート本番(年1回) 土曜寄席(年5本) 夏休み子ども向け講座(令和4年度年1回予定)
8 講座の種類(分野・区分)	7区分 [地域支援]、[防災・生活安全]、[健康づくり]、 [子育て支援]、[ジュニア]、[シニア]、[文化・教養]	10区分 [自然・環境]、[人権・平和]、[福祉・健康]、[国際化・多文化共生]、[安全・安心]、[子育て・教育]、 [自立・協働・交流]、[大人の学び]、[子どもの育ち]、[連携]	公民館が年度ごとに5つのテーマを掲げ、担当職員がそれぞれで企画・運営している。	(12区分を参考に選定) 「法律・政治を学ぶ」、「経済・情報化を学ぶ」、「少子・高齢化を学ぶ」、「環境・生活を考える」、「男女共同参画の推進」、「若者・空間プロデュース」、「心と健康と人間関係を考える」、「歴史・文化・芸術を学ぶ」、「国際協力・多文化共生の推進」、「趣味と実技を楽しむ」、「運動・体操・ダンスを楽しむ」、「その他」

令和3年度 近隣公民館直営3市事業聞き取り調査

令和4年3月28日 公民館運営審議会 資料

調査市	小平市	国分寺市	国立市	東村山市
9 市民講座テーマの選定方法	各館に公民館事業企画委員会があり企画。委員は、地域に根付いた活動をされている方が多い。	各館に公民館運営サポート会議があり提案する。講座終了後のアンケートを参考。利用者懇談会からアイデアをいただく。公運審発の企画もあった。	公民館職員が企画する。市民公募や企画員制度はないが、講座参加者のご意見などを参考に、さらに発展した企画立案を行うことはある。	講座テーマは市民公募。(市報・HP・各館で募集用紙配置)市民講座ボランティアと公民館運営審議会で選定、決定する。
10 市民講座テーマ決定後、講座の企画・運営は公民館職員によるものか市民によるものか	小平市事業企画委員会による企画と正職員による運営。	正職員による企画・運営。	企画員制度はなく、担当職員が企画・運営。	各職員が担当し、市民講座ボランティアと企画・運営。
11 講師の依頼	職員が依頼。武蔵野美術大学、東京学芸大学・病院など。企画委員会による講師紹介もある。	職員が講師依頼。東京学芸大学と連携有り。講座によってケースバイケース。インターネットや、地域のラジオパーソナリティからなど担当によって多岐に渡る。	職員が講師依頼。地元一橋大学や東京学芸大学と連携。また、NHK学園との連携あり。	職員が講師依頼。インターネットや近隣の白梅学園大学と東京学芸大学に講師派遣依頼。また、各公民館で活動しているサークルに講師依頼。
12 事業担当職員数(正職員・専門職)	中央は講座担当の正職員8名、分館は正職員は館長のみで会計年度専門職員2名。	本多公民館は事業担当正職員4名。会計年度職員3名。地区館4館は正職員は館長のみで会計年度専門職員2人。	事業担当正職員7名、会計年度職員3名。他に、図書室担当3名・保育室担当会計年度職員7名がいる。	事業担当正職員4名。会計年度職員1名(かめのご学級担当)
13 市民講座受講者の年齢層	テーマによって募集段階である程度年齢層が決まる。(ジュニア・シニア子育て向け等)。一般向けは高齢者が多数。	高齢者が多数。受講者は60歳～80歳代が多い。	シニア層が多い。幅広い世代が参加するものがある(親子講座)。ヤング世代は限定して開催するが、受講者は少数。大学生のボランティアを誘って受講していた。また、大学生の口コミで広げてる。	高齢者が多数。平均70歳代
14 講座の開催曜日・時間帯(講座ごとに工夫しているか)	火曜～土曜で開催。日・月は休日。	土・日はあるが、時間は工夫していない。	土日・夜間は若者や子育て世代向け、平日はシニア向けが多い。保育園に子供を預けやすい平日午前中に設定することもある。午前10時～または、午後2時からが多い。(会計年度専門職員の保育士が7名配置されているので、託児付き講座がしやすい。)	親子対象の講座や狭山公園が会場の場合は、土日開催。(令和4年度は土日開催増加予定)
15 市民講座ボランティアの有無(当日運営など)	無し。事業企画委員会はあり。	無し。サポート会議(サークル・有識者)でアイデアをもらう程度。サポート会議が中庭の整理等している。大学生に来てもらいジュニア勉強支援あり。有償月1万円。	無し。講座ボランティア・企画員はいないが、大学生のボランティアは、東京学芸大、杏林大、多摩美術大、武蔵野美術大、首都大学(東京都立大)など。	令和3年度市民講座ボランティア14名(市民講座テーマ提案・選定・企画・運営など)